

# TOCHIKEN



「主要地方道宇都宮茂木線（芳賀市貝バイパス）」（令和6年4月25日4車線供用開始）

巻頭言	①
令和6年度定時総会	②
新役員一覧	③
就任挨拶	④
栃木県人事異動	⑤
<b>特集</b> 建設業で進む効率化 ～大規模土工の現場 田川の調整池～	⑦
時間外・休日労働を行う場合の手続き ～建設業における時間外労働上限規制への対応～ 〈栃木労働局〉	⑩

ダムの効果と最近の取組について	⑫
〈栃木県 県土整備部砂防水資源課〉	
夢と希望が溢れる建設業へ	⑬
〈栃木県建設業協会青年経営者連合会〉	
Topics	⑭
続・とちぎのサムライvol.30	⑳
全国津々浦々 お城めぐりの旅	
インフォメーション	㉑



## ～加速する変革を受けとめ 建設業の社会的使命を果たす～

一般社団法人栃木県建設業協会

会長 谷 黒 克 守

定時総会が5月29日に滞りなく終了いたしました。会員の皆様の御協力に改めて感謝申し上げます。

また、引き続き会長職をお任せいただくこととなり、誠に身の引き締まる思いでございます。今回の役員改選で退任された入江副会長、山根副会長、増渕副会長にはこれまでのご功績に対し、感謝の念に堪えません。新役員ともども誠心誠意本会運営に当たってまいりますので今後も御支援をよろしくお願いいたします。

今年始めの能登半島地震では、甚大な被害が発生したところであり、お亡くなりになりました方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、今なお避難生活を強いられている皆様にお見舞いを申し上げます。

此度改めて直下型地震の恐ろしさを身にしみて感じたところですが、会員の皆様には自然災害時にも『地域の守り手』としての使命を果たしていただきたいと思っております。

しかしながら、近年では従事者の高齢化や若年労働者の入職率の低下により、建設業の将来を担う人材の確保・育成が困難になりつつあり、長年培われてきた技能・技術の伝承も課題となっております。

また、今年4月から建設業にも残業時間の上限規制が適用され、業務効率化や生産性向上といった対策がより一層必要となっております。

このため、働き方改革、DXの推進など積極的に対応するとともに、建設業の役割への理解促進を図る広報活動にも取り組みながら、新しい担い手となる若者が魅力を感じる、新しい建設業へと積極的に進化を遂げて参りたいと考えております。

なお、私たち建設業が課せられた社会的使命を十分に果たしていくためには、健全で安定した経営が不可欠です。今後も国や県に対して、公共事業予算のさらなる確保、とりわけ国土強靱化に向けた予算がしっかり確保されるよう強く要望してまいります。これからも建設業が、「地域の創り手・守り手」として地域から信頼され、地域から愛され、地域に存続していくよう、災害対応はもちろんのこと社会資本整備やその維持管理にもしっかりと取り組んでいく決意です。

最後に、会員皆様の日頃の鍛錬と力の結集が、引き続き今後生じるであろう自然災害等の事態での、的確な対応へとつながることから、日頃から準備等に怠りなきようよろしくお願い申し上げます。引き続き、会員相互の連携により、建設業が、県民の皆様の安全で活力に満ちた生活を実現する「地域の守り手」や「地域の創り手」としての社会的地位をしっかりと定着させていくために、皆様に有益な事業展開を図って参りますので、引き続きご支援、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 令和6年度「定時総会」開催

去る5月29日(水)、ホテル東日本宇都宮において令和6年度定時総会が開催されました。

例年、総会時に懇親会は開催しておりませんが、本年は猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も収まり、会員相互に親交を深める、年に一度の絶好の機会である懇親会を開催し、そこで福田富一知事をはじめご来賓の方々にご祝辞を頂きました。また、表彰式につきましても、従来どおりの形で実施することができました。これは、ひとえに皆様の御理解と御協力の賜物であり、お陰様をもちまして、無事に定時総会を終了することができました。

当日の会場には、定款に定める定足数を大きく上回る、委任状による者を含む322名の会員の参加をいただくことができ、総会は無事成立いたしました。

冒頭のあいさつで、谷黒会長は、人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、担い手の確保は地域建設業が存続していくうえで、早急に取り組まなければならない最重要課題となっており、そのうえで、諸課題にも的確に対応し、地域建設業としての社会的使命を果たしていくため、会員皆様のご協力の下、新しい時代にふさわしい改革を遂げる「構造改革」を今年度も取り組み、また公共予算面では改正国土強靱化法に基づく実施中期計画の早期策定を関係機関に強く働きかけ、受注機会の拡大を図って参りたいと活動の抱負を述べました。

次に一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達を行い、受賞された12名を代表して(株)生駒組の生駒憲一様が表彰状を会長から受け取りました。続いて公益財団法人建設業福祉共済団理事長表彰を行い、受賞された2名の方を代表して芳賀支部支部長の坂野弘様が表彰状を会長から受け取りました。次に一般社団法人栃木県建設業協会会長表彰を行い、長年にわたり業務に精励されました140名を代表して永年勤続役職員の岡村建設(株)岡村昌仁様が表彰状を会長から受け取りました。

その後、議事に入り、第1号議案「令和5年度事業報告及び計算書類承認の件」が原案どおり可決さ

れました。続いて報告事項「令和6年度事業計画及び収支予算の件」が第2、第3号議案より先に報告され、その中で改正国土強靱化法に基づく実施中期計画の早期策定、労務単価の引き上げなどの要望をはじめ、道路・河川等維持管理業務の共同受注の拡充、人材確保・育成に向けた高校生インターンシップ」およびイメージアップに向けた「建FES GO！」とちぎ子どもの未来創造大学」の開催などに取り組んでいくことが報告されました。

その後、第2号議案「定款の一部改正の件」が原案どおり可決され、第3号議案「役員選任の件」では、本年度は「役員の任期満了」に伴う改選時期のため、役員推薦名簿のとおり承認されました。

役員改選では谷黒会長、竹澤副会長の再任のほか、菊池副会長、石川副会長、坂野副会長、齋藤副会長が新任され、副会長を4名から5名に増員し協会の体制強化を図るとともに、事業運営の継続性を確保しました。

また、同日、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が、また5月31日には栃木県建設産業団体連合会、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会、栃木県森林土木建設業協会および全中建栃木の総会が開催され、それぞれ令和6年度の事業計画・予算案等の案件が承認されました。



令和6年度 総会の様子

# 新役員一覽



会 長  
谷黒 克守



副会長  
菊池 三紀男



副会長  
石川 裕之



副会長  
竹澤 則男



副会長  
坂野 弘



副会長  
齋藤 和実



常任理事 宇都宮支部長  
野澤 充広



常任理事 鹿沼支部長  
宇賀神 勝



常任理事 日光支部長  
榎本 美明



(兼)常任理事 芳賀支部長  
坂野 弘



(兼)常任理事 下都賀支部長  
齋藤 和実



常任理事 塩谷支部長  
岡村 昌仁



常任理事 那須支部長  
岩見 武



常任理事 烏山支部長  
岡 恒夫



常任理事 安蘇支部長  
木村 光伸



常任理事 足利支部長  
蓼沼 法彦

## 一般社団法人栃木県建設業協会役員名簿

令和6年5月30日

役職名	氏名	会社名	役職名	氏名	会社名
会 長	谷 黒 克 守	(株)谷黒組	理 事	増 淵 薫	(株)暁工務店
副 会 長	菊 池 三紀男	(株)菊地組	理 事	井 戸 和 廣	井戸産業(株)
副 会 長	石 川 裕 之	石川建設(株)	理 事	松 本 昇	(株)松本建設
副 会 長	竹 澤 則 男	竹沢建設(株)	理 事	小 金 幹 典	(株)小金建設
副 会 長	坂 野 弘	(株)丸二工務店	理 事	佐 藤 豊 忠	佐藤工業(株)
副 会 長	齋 藤 和 実	(株)齊藤組	理 事	前 原 正 義	(株)前原土建
常任理事宇都宮支部長	野 澤 充 広	(株)野澤實業	理 事	岡 忠 昭	日向野建設(株)
常任理事鹿沼支部長	宇賀神 勝	機械建設(株)	理 事	渡 邊 憲 一	渡辺工務店(株)
常任理事日光支部長	榎 本 美 明	榎本建設(株)	理 事	生 駒 憲 一	(株)生駒組
常任理事芳賀支部長	坂 野 弘	(株)丸二工務店	理 事	青 木 孝 一	(株)青木建設
常任理事下都賀支部長	齋 藤 和 実	(株)齊藤組	理 事	渡 邊 健 司	渡邊建設(株)
常任理事塩谷支部長	岡 村 昌 仁	岡村建設(株)	理 事	落 合 充 樹	(株)落合土木
常任理事那須支部長	岩 見 武	(株)大岩建設	理 事	久 保 田 彰 彦	(株)久保田組
常任理事烏山支部長	岡 恒 夫	(株)岡工務店	専 務 理 事	印 南 洋 之	協会本部
常任理事安蘇支部長	木 村 光 伸	(株)下野土木	常 務 理 事	青 木 淳	協会本部
常任理事足利支部長	蓼 沼 法 彦	(株)楯建設	監 事	小 池 仁	小池工業(株)
理 事	荒 井 学	宇都宮土建工業(株)	監 事	杉 山 剛	(株)荒牧組
理 事	渡 邊 幸 雄	中村土建(株)	監 事	真 秀 徹	(株)真進建設
理 事	入 江 誠	大幹建設(株)	監 事	澤 田 真由美	税理士法人澤田会計事務所



## 就任挨拶

栃木県県土整備部

部長 谷

英夫

栃木県建設業協会の皆様には、日頃から県土整備行政の推進について格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設業は、社会資本の整備や保全を担う産業として、地域の経済と雇用を支えるとともに、災害時には初動対応から復旧作業に至るまで、現場の最前線で地域の安全、安心を確保するなど非常に重要な役割を担っています。栃木県建設業協会の皆様には、令和6年1月に発生しました能登半島地震につきまして、義援金の御協力をいただいたほか、令和6年2月および同年5月に発生した豚熱（CSF）の防疫活動につきましても迅速な御支援、御協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、本年は建設事業などにも時間外労働の罰則付き上限規制が適用され、その影響が懸念される、いわゆる2024年問題への対応など、「地域の創り手・守り手」として重要な役割を担う建設業の労働環境改善などの取組がますます必要となっております。

県におきましては、長時間労働の改善が図られるよう、原則全ての工事を受注者希望型週休2日制工事の対象とするほか、工事着手までの余裕期間を設定した工事の発注による施工時期の平準化に努めるなど、建設業が将来にわたり安定した経営環境を維持し、より魅力的な産業となるよう、働き方改革に向けた取組を積極的に推進しています。

また、生産性の向上を図るためにはデジタルを活用することが必要不可欠であり、インフラ分野におけるDXを推進するため、昨年3月に策定・公表した「とちぎインフラDX構想」に基づき、建設生産プロセスのあらゆる段階における効率化・高度化を進めることにより生産性を高めるほか、県民の生命と財産を守る観点から、防災・減災分野におけるデジタル化を重点取組として加速させ、県民サービスの向上を図って参ります。

また、地元建設業界との協力・信頼関係を更に深めるため、各支部と土木事務所、現場代理人と監督員など「レベル（階層）別」の意見交換会を開催し、業界の意見を吸い上げ、施策に反映して参ります。

引き続き県におきましては、本県の将来像である「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現のため、災害時の緊急対応強化をはじめ、働き方改革の推進、生産性向上への取組及び担い手の確保・育成など、直面する課題の解決に向けて「地域の創り手・守り手」である皆様と一層の連携を図って参りたいと考えておりますので、一層の御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 栃木県人事異動（新任）

## 県土整備部



部長  
谷 英夫



次長  
小野 和憲



次長  
星野 晃秀



参事兼技術管理課長  
笹沼 政行



参事兼宇都宮土木事務所長  
松本 茂



参事兼日光土木事務所長  
野澤 浩



参事兼栃木土木事務所長  
横尾 元央

(令和6年4月1日現在)

職 名	氏 名	前 職 名
県土整備部長	谷 英 夫	県土整備部次長
県土整備部次長	小 野 和 憲	県土整備部参事兼技術管理課長
県土整備部次長	星 野 晃 秀	県土整備部参事兼栃木土木事務所長
県土整備部参事兼技術管理課長	笹 沼 政 行	都市計画課長
県土整備部参事兼宇都宮土木事務所長	松 本 茂	日光土木事務所長
県土整備部参事兼日光土木事務所長	野 澤 浩	企業局地域整備課長
県土整備部参事兼栃木土木事務所長	横 尾 元 央	交通政策課長
交通政策課長	石 崎 浩	道路保全課長
道路保全課長	河 又 伸 一	安足土木事務所長
河川課長	細 井 俊 一	栃木土木事務所次長兼改良復旧部長
砂防水資源課長	阿 久 津 政 巳	矢板土木事務所長
上下水道課長	大 塚 功 司	烏山土木事務所次長兼企画調査部長
都市政策課長	日 原 順	河川課長
都市整備課長	塩 田 勉	鹿沼土木事務所長
住宅課長	三 澤 隆 裕	住宅課主幹(公営住宅担当)
鹿沼土木事務所長	橋 本 達 雄	日光土木事務所次長兼企画調査部長
真岡土木事務所長	吉 成 克 弘	公園事務所長
矢板土木事務所長	寺 内 修 一	下水道管理事務所長
烏山土木事務所長	江 連 宏 典	矢板土木事務所次長兼夕ム管理部長
安足土木事務所長	佐 野 友 紀	真岡土木事務所次長兼企画調査部長
下水道管理事務所長	鶴 見 幸 一	宇都宮土木事務所次長兼企画調査部長

## 農政部



次長  
杉井 拳



参事兼下都賀農業振興事務所長  
藤沼 良彰



参事兼那須農業振興事務所長  
鈴木 正光



参事兼県央家畜保健衛生所長  
半田 真明

職 名	氏 名	前 職 名
農政部次長	杉 井 拳	農業試験場長
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長	藤 沼 良 彰	農地整備課長
農政部参事兼那須農業振興事務所長	鈴 木 正 光	生産振興課長
農政部参事兼県央家畜保健衛生所長	半 田 真 明	畜産振興課長

## 栃木県人事異動（新任）

職名	氏名	前職名
生産振興課長	後藤 知昭	農政課農政戦略推進室長
畜産振興課長	谷山 和雄	那須農業振興事務所次長兼企画振興部長
農地整備課長	森嶋 裕一	安足農業振興事務所長
安足農業振興事務所長	小堀 忠則	安足農業振興事務所企画振興部長
水産試験場長	成澤 規之	農業環境指導センター所長
県南家畜保健衛生所長	山口 修	県中央家畜保健衛生所次長兼家畜保健部長
県北家畜保健衛生所長	飛田 府宣	県中央家畜保健衛生所家畜衛生研究部長

### 環境森林部



部長  
齋藤 利也



次長兼環境森林政策課長  
野中 寿一



参事兼県西環境森林事務所長  
松本 勇

職名	氏名	前職名
環境森林部長	齋藤 利也	環境森林部次長兼環境森林政策課長
環境森林部次長兼環境森林政策課長	野中 寿一	環境森林部参事
環境森林部参事兼県西環境森林事務所長	松本 勇	林業木材産業課長
環境保全課長	高梨 真紀	小山環境管理事務所長
林業木材産業課長	大金 重秀	森林整備課長
森林整備課長	岡本 和久	県南環境森林事務所長
県南環境森林事務所長	大山 剛	環境森林政策課環境立県戦略室長
小山環境管理事務所長	伊東 佳久	県北環境森林事務所環境部長

### 企業局



局長  
小林 宣夫



参事兼今市発電管理事務所長  
横地 一夫

職名	氏名	前職名
企業局長	小林 宣夫	総合政策部次長兼総合政策課長
企業局参事兼今市発電管理事務所長	横地 一夫	企業局電気課長
企業局地域整備課長	屋代 紀明	都市整備課長
企業局電気課長	北野 武志	今市発電管理事務所主幹兼所長補佐（総括）
企業局水道課長	松本 満	鬼怒水道事務所長
北那須水道事務所長	村上 晴久	今市発電管理事務所主幹兼板室管理支所長
鬼怒水道事務所長	金子 博保	北那須水道事務所主幹兼所長補佐（総括）

# 建設業で進む効率化 ～大規模土工の現場

令和6年4月より建設業界にも働き方改革関連法案に基づく時間外労働（残業）時間の上限規制が適用されました。これを受けて建設業界ではさまざまな取り組みがなされていますが、その一つとして情報通信技術（ICT）を活用して現場担当者の負担を軽くする取り組みが進んでいます。そこで今回は発注者と一体となった形で積極的にICT技術を活用して、大きな成果をあげた現場の状況を集めました。

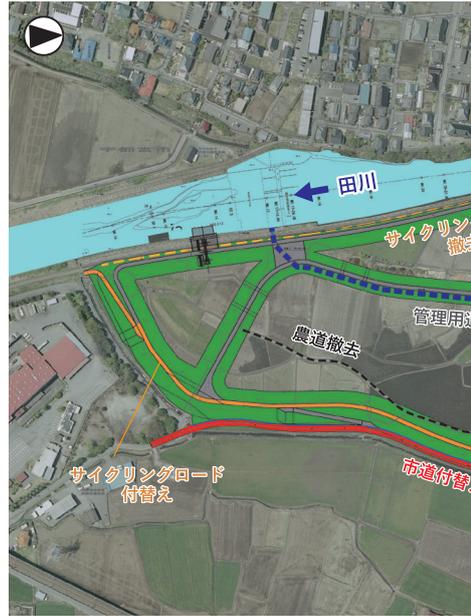
**事業延長** 約 6.5

**浸水対策重点地域 緊急事業の概要**

※浸水対策重点  
中小河川の氾濫  
対策や土地の利

**調節池（川田調節池）** 【面積】約 16ha

○ 河道掘削により増加させた流量を下流区間



施工参画会社：宇都宮土建工業、菊地組、小平興業、大幹建設、中村土建、野澤實業、増淵組、渡辺建設（50音順）

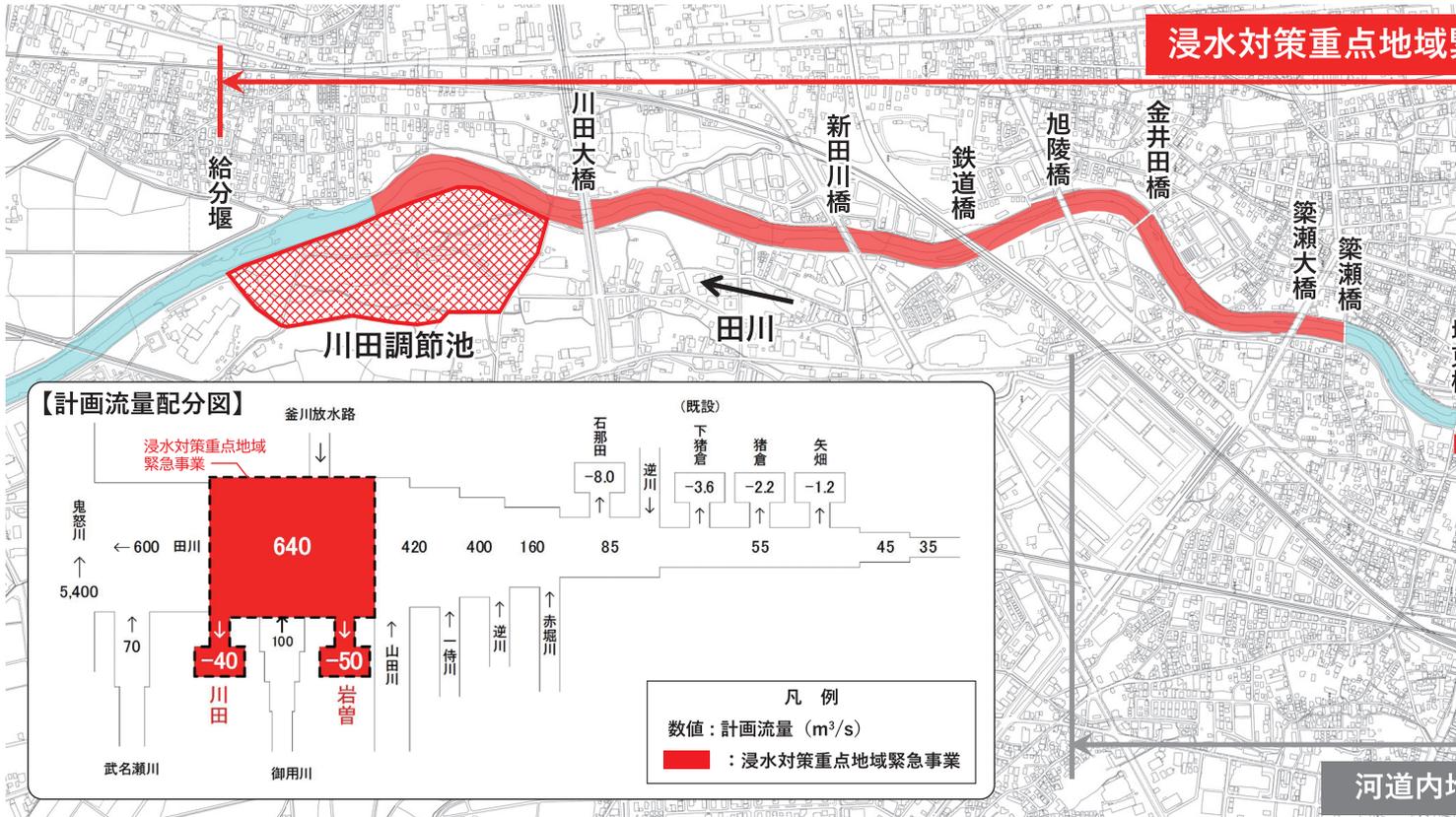
## 1 事業概要

栃木県では中心市街地で甚大な浸水被害が生じたことを受けて、宇都宮市とともに田川流域における浸水対策について検討を行い、県の河川事業として、特に被害の大きかった山田川合流点（宇都宮市岩曾町）から給分堰（宇都宮市川田町）までの 6.5km 区間において、調節池整備及び河道掘削等を実施することとし、令和3年度から『浸水対策重点地域緊急事業』に着手しました。

今後、調節池整備及び河道掘削等を緊急的・集中的に実施することで、宇都宮市と連携・協力して令和元年東日本台風と同程度の洪水に対し、床上浸水被害の解消を目指します。

## 2 調節池の整備

洪水により河川が氾濫する前に、一時的に調節池で水を貯留することで河川の水位を下げ、氾濫を生じにくくするため、調節池を岩曾町地内及び川田町地内に整備します。調節池の整備にあたっては、田川と同程度の深さとします。



# 田川の調整池～

km **事業費** 約90億円 **工事内容** 調節池整備、河道掘削、堤防整備等 **事業期間** 令和3(2021)年～令和7(2025)年(予定)

地域緊急事業

により深刻な影響が生じた地域において、再度災害の防止等を図ることを目的に防災・安全交付金で集中的な対策を国が支援する事業。河川改修に加えて、ソフト用規制等の自治体による独自事業と一体となり実施。

【調節容量】約33.6万m<sup>3</sup>

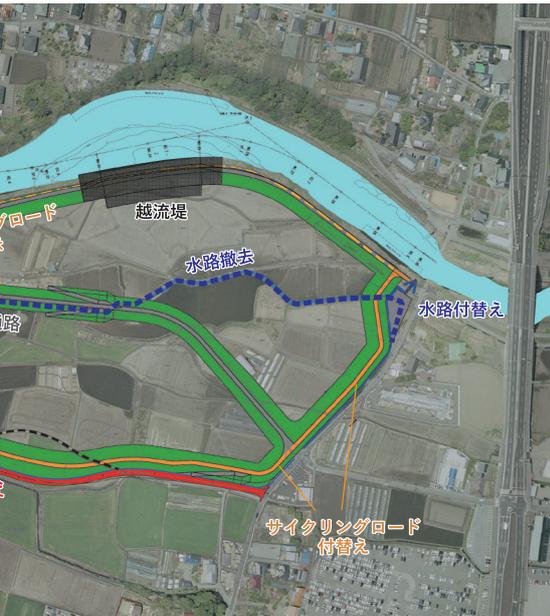
へ流さないように調節します。

**調節池(岩曾調節池)**

【面積】約18ha

【調節容量】約24.3万m<sup>3</sup>

○宇都宮市中心市街地部の河川水位を低減します。

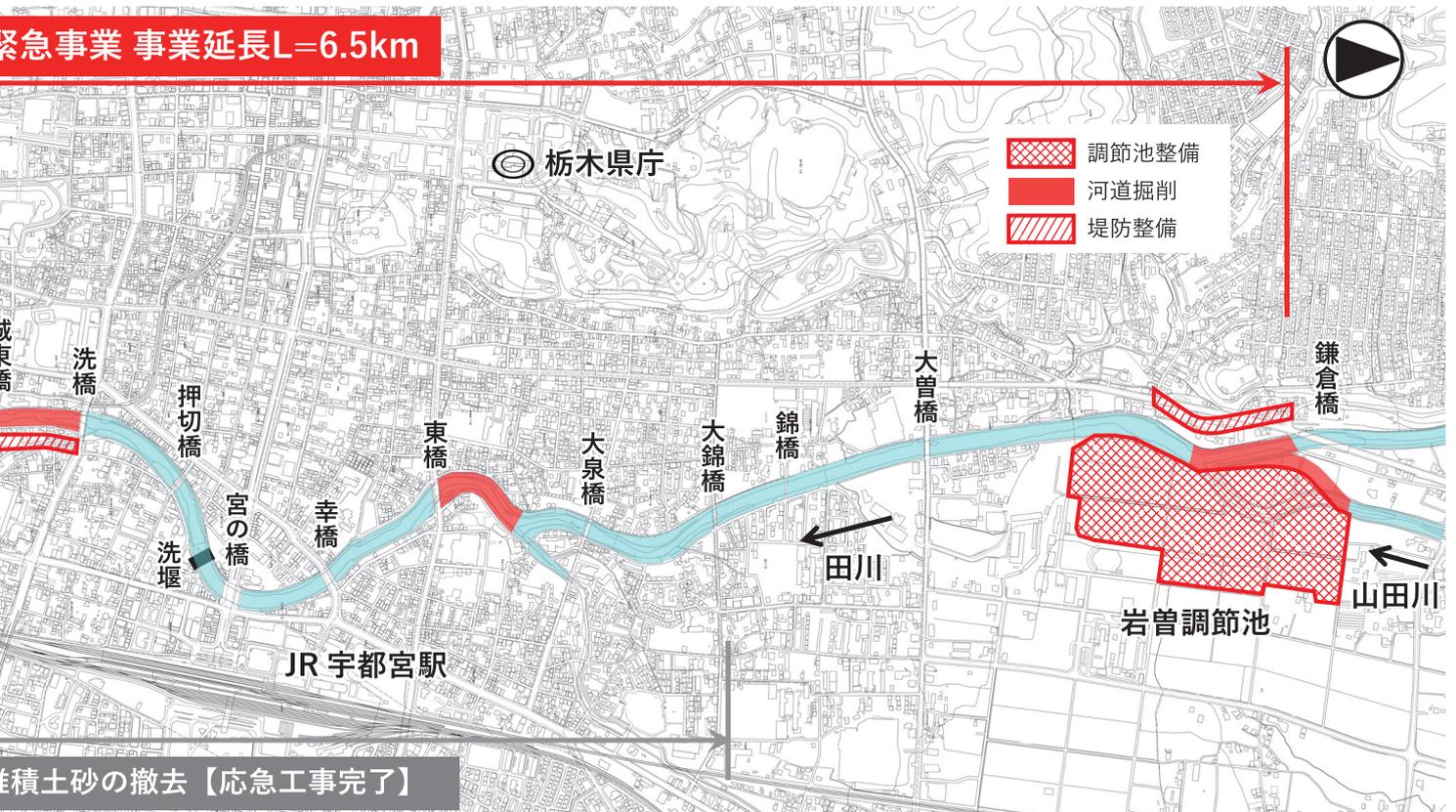


※管理用通路での一般車両の通行はできません。  
※今後の調査や検討等により、計画を変更する可能性があります。



※管理用通路での一般車両の通行はできません。  
※今後の調査や検討等により、計画を変更する可能性があります。

緊急事業 事業延長L=6.5km



堆積土砂の撤去【応急工事完了】

### 3 ICT 施工の流れ

- (1) **3次元起工測量**：着工前の現状把握をするための起工測量を面的な地形測量が可能な3次元計測技術を用いて実施します。
- (2) **設計データ作成**：ICT機械による施工を実施するため、設計データを3次元設計データに変換します。
- (3) **ICT機械による施工**：作成した3次元データを建設機と連動させて「マシンコントロール」と呼ばれる半自動の施工を行います。施工の目安となる丁張を大幅に削減することが可能となり、測量する人員は大幅に減少。また、建設機械の周りに施工管理のための監督員の配置が不要となるため、安全性も大きく向上します。
- (4) **3次元出来形管理等の施工管理**：出来形計測箇所を3次元計測技術によって出来形管理を行い、出来形管理図表を作成します。
- (5) **3次元データの納品**：出来形管理や数量算出の結果等の工事書類等（電子成果品）を、「工事完成図書の電子納品等要領」で定める「ICON」フォルダに格納し提出します。

### 4 施工状況

#### ●掘削工



#### ●法面整形



#### ●盛土



## ●小規模土工



### 5 今回の工事における ICT 工事のメリット（施工参画会社のアンケート）

- 丁張をかける必要がなくなりました。
- 丁張からの下がり管理など施工の確認の必要がなくなりました。
- 測量にかかわる人件費が削減できました。
- 重機オペレーターの熟練経験が必要とされた法面整形作業等が簡易に施工できました。
- 作業員がほとんどいない状態で施工が可能のため安全性が向上しました。
- 提出書類の簡素化ができました。（3次元データのみ）

### 6 ICT 工事の今後の課題（施工参画会社のアンケート）

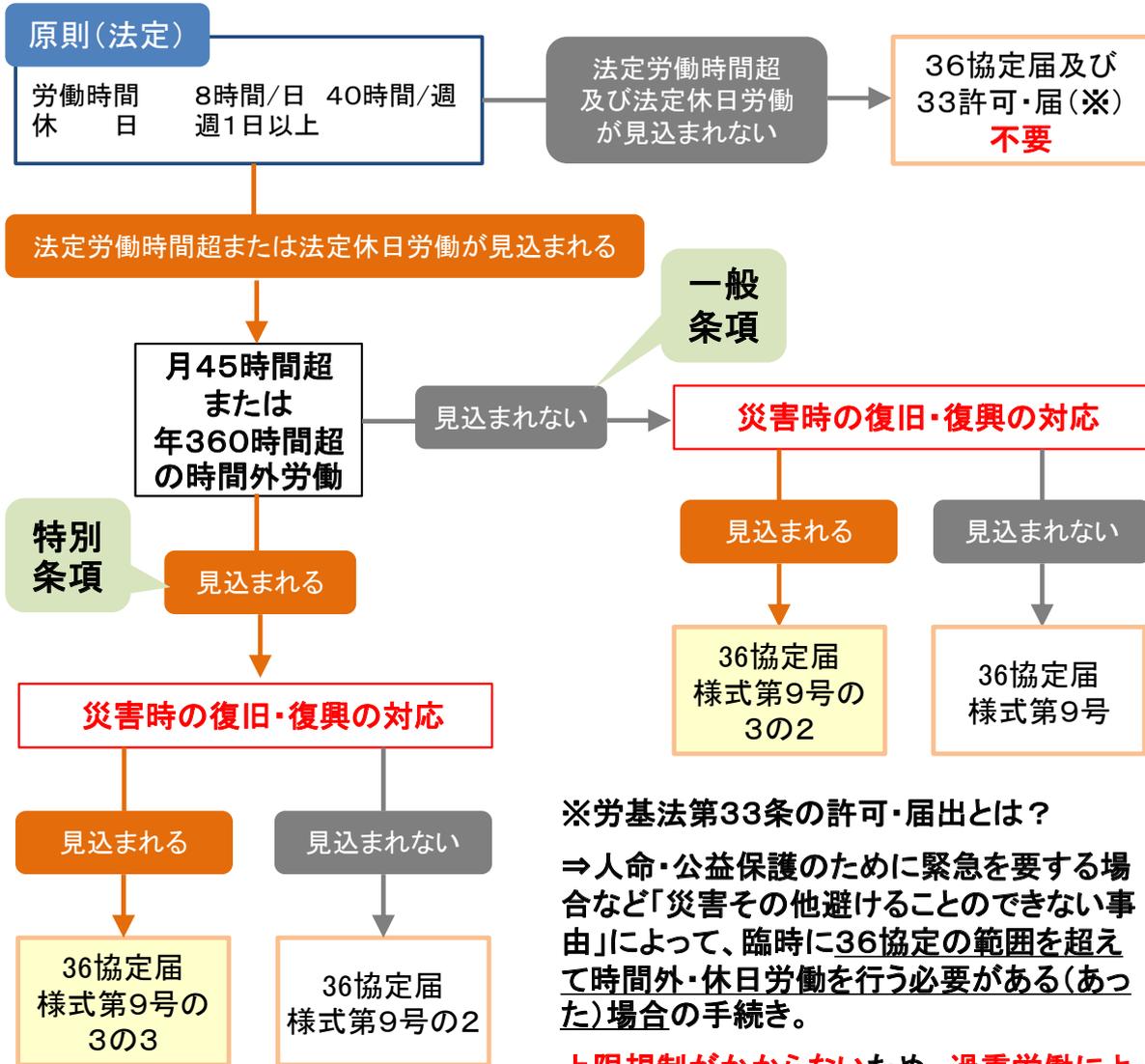
- 機械をレンタルすると高額となる。
- 設計データの作成や出来形測量を外注としているので、コストがかかりすぎてしまう。また、頻繁に出来形測量が実施できないために、次工程に移るまでの時間がかかってしまう。
- 法面勾配の変わり目の施工等、従来通りオペレーターの熟練に頼らなければならない箇所もある。
- 測量業務等の削減にはなるが、データの作成や移行など新たな業務も発生してしまう。
- 小規模工種の場合メリットは見いだせない。
- 従来型の現場監督に魅力を感じている技術者が減少してしまうのではないかと。

### 7 まとめ

発注者と一体となって取り組んだ情報通信技術（ICT）を活用した今回の工事で、その技術を活用することが、現場担当者の負担軽減や深刻な人手不足の解消に大きく寄与する可能性が高いことが証明されました。一方、小規模な工種に対してはそのメリットが見いだしづらいことや、設計データや出来形測量にかかるコストが高額になってしまうことなど、まだ解決すべき課題も明らかになってきました。しかしながら、こうした情報通信技術（ICT）の活用を含めた様々な新技術の導入により、業務のスリム化を図り現場担当者の負担軽減につなげ、新しい建設業界のあり方を模索していることに明るい未来を感じることができました。

# 時間外・休日労働を行う場合の手続き ～ 建設業における時間外労働上限規制への対応 ～

栃木労働局



※労基法第33条の許可・届出とは？  
⇒人命・公益保護のために緊急を要する場合など「災害その他避けることのできない事由」によって、臨時に36協定の範囲を超えて時間外・休日労働を行う必要がある(あった)場合の手続き。

上限規制がかからないため、過重労働による健康障害防止対策が重要。

**時間外・休日労働の上限規制**

時間外労働(※災害時の復旧・復興の対応に要する時間を含む。)  
月45時間を超える回数は6回以内 かつ 年720時間以内

時間外・休日労働(※災害時の復旧・復興の対応に要する時間を除く。)  
月100時間未満 かつ 2～6か月の平均は常に月80時間以内

いわゆる**過労死ライン!**

# ダムの効果と最近の取組について

栃木県県土整備部砂防水資源課

## 1 はじめに

栃木県県土整備部では、日光土木事務所で中禅寺ダム、三河沢ダムの2ダム、矢板土木事務所で西荒川ダム、塩原ダム、寺山ダム、東荒川ダムの4ダム、安足土木事務所で松田川ダムの計7つの県営ダムを管理しております。

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、栃木県においても流域全体であらゆる関係者が協力してハード・ソフト一体となって、総合的に事前防災対策に取り組む「流域治水」を推進しており、ダムもその一端を担っております。

また、これらのダムは、洪水調節による治水上の役割だけではなく、水道用水、農業用水、発電用水の補給などの利水上の役割や、下流河川の水量安定、華厳滝の落水量確保など、環境や観光のためにも重要な役割を担っています。

本稿では、これらダムの効果や取組についてご紹介します。

## 2 洪水時のダムの効果

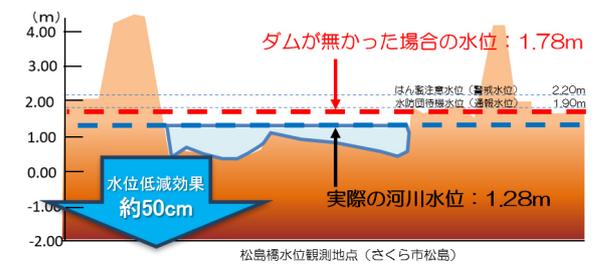
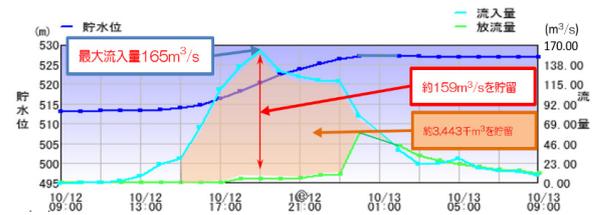
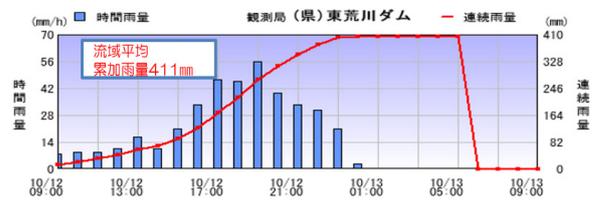
令和元年10月12日～13日の台風第19号では、7ダム全てで洪水調節を実施しました。

東荒川ダムでは、流域平均累加雨量が411mmを記録し、ダムへの最大流入量は約165m<sup>3</sup>/sに達しました。

東荒川ダムの洪水調節により、最大約3,443千m<sup>3</sup>（最大約159m<sup>3</sup>/s）をダムに貯留し、ダムが無かった場合と比較して、ダム下流の松島橋地点（さくら市松島）では、約50cm水位を低減させました。



また、三河沢ダム、西荒川ダム、塩原ダム、松田川ダムでは合計668m<sup>3</sup>の流木を捕捉し、ダム下流の流木被害を防止しました。



## 3 渇水時のダムの効果

ダムに貯留した水を補給することで、渇水時でも河川の水量を維持し、農業用水などの水利用を可能とするなど、渇水被害を軽減します。

## 4 ダムのPR

栃木県では、7月21日～31日の「森と湖に親しむ旬間」に合わせて、ダムの一般公開を実施しています。

普段は見ることのできない監査廊や、放流ゲートなどを職員のわかりやすい説明を聞きながら見学することができます。

また、出前講座やダムカードの配布、ダムカレーの販売促進など、ダムを広くPRし、ダムの目的や役割などについて理解を深めていただくための活動を行っています。

## 5 終わりに

ダムは水害から県民の生命・財産を守るために無くてはならない重要な社会資本です。ダムを適切に運用し、その目的や役割を県民の皆様理解していただくことが、我々ダム管理者の責務であると考えています。

是非皆さんもダムを訪れていただき、ダムについて学んでみてください。



## 新体制のスタート！「夢と希望が溢れる建設業へ」

経営者講習会、通常総会の開催

栃木県建設業協会 青年経営者連合会



菊池青経連会長



谷黒協会長



左から本田幹事長、山中副会長、岩澤会長、  
上澤副会長、津野田副幹事長



総会の様子

令和6年6月28日、栃木県建設業協会青年経営者連合会（青経連）の通常総会が、ホテルニューイタヤで開催された。開会に伴い、菊池青経連会長より、「会長としての2年間、会員の皆様と様々なことを悩みやり遂げました。素敵な思い出をくれました青経連と、同じ時を過ごしていただいた会員の皆様に心から感謝申し上げ、新会長のもと、この会が益々発展されますことを祈念申し上げます」と挨拶があった。

続いて、来賓の谷黒協会長から、「ICT技術の導入や働き方改革の推進など、様々な課題が山積する中、これからの建設業協会を背負って立つ、青経連の皆様方におかれましては、これらの課題解決に果敢に挑戦していただくよう、御活躍を大いに期待しております」と祝辞があった。

議事では、令和5年度の事業として、建設業の職業体験を通じて、建設業の仕事に関心を持ってもらう「建FESGO！」や、建設業が抱える諸課題の解決に向けて「栃木県の土木事務所との意見交換会」を行ったことを報告した。続けて、令和6年度の事業計画として、「建FESGO！」の開催や、「栃木県との意見交換会」・「女性の入職促進に向けたとちけん小町の活動」といった青経連事業のほか、「栃木県建設業協会の事業」・「全国・関東建設青年会議の各種活動」にも引き続き協力していくことを説明した。

また、本年は役員改選期であり、新執行部として、会長に岩澤賢典氏（岩澤建設(株)・足利支部）、副会長に山中慎太郎氏（(株)山中組・下都賀支部）と上澤宏行氏（鶴見建設(株)・芳賀支部）、幹事長に本田圭佑氏（(株)本田工務店・那須支部）、副幹事長には津野田哲氏（(株)津野田土木・宇都宮支部）が選出された。新執行部を代表して岩澤新会長から、「菊池会長への2年間の感謝の言葉と今後の活動の抱負」が述べられた。

また、総会の前段には、経営者講演会が行われ、税理士法人サリーレ代表税理士の岸久貴様を講師にお迎えし、「会社経営に役立つ財務会計」をテーマに講演を行った。参加者からは、様々な質問が寄せられていた。



## 高校生のドローン飛行体験会

【本部】



建設業界のDX・ICTやドローンについての座学

令和6年5月2日、建設業のICT技術やドローン操縦の体験を通じて、高校生に建設業の新しい側面を知ってもらい興味を持ってもらうよう、栃木県立小山北桜高等学校にてドローン飛行体験会を開催いたしました。

まず、座学の時間では、建設業界のDX・ICT、ドローンに関する基礎知識を学び、建設業の先進技術や取り組みについての理解を深めていただきました。その後、体育館内での実習では、実際にドローンを操縦し、飛行や撮影の基本的な操作方法を学びました。



体育館内にて、DJI社のPhantom4を操縦

今年で3年目を迎えたところであり、この体験会を通じて、生徒の方々には、建設業界におけるドローンの活用方法や可能性について具体的なイメージを持つことができたのではないかと思います。

建設業界が進化し続けていることや、ICT技術やドローンなどが建設現場でどのように活用されているのかを学ぶことで興味が高まり、将来の担い手となる人材が増えていくよう、引き続き、体験会を続けてまいります。

## 大規模災害時の合同情報訓練

【本部】



谷黒会長と荒井技術委員長による応援体制の確認

令和6年6月5日、大規模災害時への対応を行うべく、栃木県、国土交通省関東地方整備局、防衛省、栃木県建設業協会、那須烏山市、建設コンサルタンツ協会が参加した「合同情報伝達訓練」を行いました。

平成25年から実施している訓練で、今回は令和6年能登半島地震等の事象を参考に、栃木県内で最大震度7を記録したことを想定。那須烏山市において甚大な災害が発生し、3つの事象を想定した情報伝達訓練を行いました。

訓練は、Webオンラインシステムを使用した情報伝達により行われ、今後も被害情報の増大が予想され、その対応に万全を期すため、栃木県県土整備部長から応援要請を受けた本会の谷黒会長が烏山支部の岡支部長に体制を確認をするもので、訓練では本会が独自に開発した「道路・河川等管理情報システム」を使用いたしました。



烏山支部員がドローンを飛行させ、Webオンラインを使用しリアルタイムに映像配信

また、一級河川荒川的那須烏山市高瀬大橋上流で、大規模な斜面崩壊による河道埋塞が発生し、上流部で湛水が発生しているとの情報提供を市民から受け、烏山支部員がドローンを飛行させWebオンラインシステムを使用し現地状況をリアルタイムで映像配信するなど、関係機関との連携を密にした実践的な訓練を行いました。



## Topics

### お子様から大人まで建築・建設のお仕事を 楽しく知るイベント ～みやJOYけんちく博開催～

#### 【宇都宮支部】



宇都宮建設業協会(菊池三紀男会長)は栃木県建築士会(柴田道夫会長)ならびに栃木県建築士事務所協会(山崎良知会長)との共催で、令和6年3月24日にライトキューブ宇都宮において「みやJOY2024けんちく博」を開催しました。「みやJOY2024けんちく博」は今年が初めての開催でしたが、約7,000人が来場し、小さな子供から大人まで幅広い年代の方々にいろいろな体験を楽しんでいただきました。

「みやJOY2024けんちく博」は『建築ってカッコイイ!!』をテーマに来場者に楽しい体験をとおして、建築への興味・関心を高めてもらうことが最大の目的。当日は①設計②建設③企業④作品展示の4ブースのほか、おかしにくいコーナーで構成。設計ブースでは、ミニドローン操縦体験や理想の街を創る「LRTがあるまちづくり」、VR空間での宝探し「アーキトレジャーおたからGo」、部屋のレイアウトを考える「ちよこっとプランニング」を実施。建設ブースでは実際に木材を組み立てて家を作る「とんとんおうちへGO」、左官、塗装、木工などの職人体験、高所作業車やバックホーなどの重機搭乗体験を実施。設計から建設まで建築のすべてを学ぶことができるようなコンセプトとなっていました。

参加者からは大変好評で、次年度以降の継続的な開催を望む声が多く寄せられていました。



(岩原産業(株) 岩原正樹)

### 《知ろう!見よう!考えよう!けんせつのお仕事》

## 総合学習支援活動

#### 【鹿沼支部】



令和6年1月19日、栃木県建設業協会鹿沼支部青年の会は、鹿沼土木事務所の協力のもと鹿沼市立菊沢東小学校6年生50名を対象とした総合学習支援活動を実施しました。鹿沼支部からは支部長を始め17名が参加し、鹿沼土木事務所からは所長ほか8名が参加しました。『知ろう!見よう!考えよう!けんせつのお仕事』をテーマに掲げ、児童たちを施工中の工事現場に招き、建設業の魅力や役割りについて学んでもらいました。普段は経験のすることのできない橋脚部コンクリートを見て触りながら記念に絵を作成、防草コンクリートのフレッシュコンクリートへの鏝均し体験をし記念に手形製作、高所作業車・バックホー・ロードローラーへの搭乗体験。小型バックホーでの掘削作業体験、ロードローラーでの締め固め作業を空き缶潰しをしながら経験してもらいました。天候に恵まれ雲一つない晴天の下、児童たちのキラキラした笑顔と楽しそうな声がかきまする中、本体験学習を通して建設業の仕事について学んでいただきました。



児童たちからも「建設業の魅力を肌で感じた。とても貴重な体験ができた。建設業のイメージが変わった」とのとても嬉しい声を多数いただきました。このような活動を通して将来の進路の選択肢の一つとして建設業に携わってもらえればと思います。鹿沼土木事務所様のご協力に感謝いたします。

(株)中津工業 飯野敦司



## 日光土木事務所と日光支部 若手・女性技術者による意見交換

【日光支部】



意見交換

日光土木事務所と日光支部青年の会は3月6日に、「第2回若手及び女性技術者による意見交換会」を実施しました。両者から若手、女性技術者25人が参加し、今後必須となるBIM/SIMについて推進していく核となる若手技術者を中心に取り組む必要性を理解し、学ぶ機会を提供しました。

青年の会の山田副会長は「今回の体験では現場で3D図面やARも見られるようにしたので、これからの現場がどう変わっていくのか、確認・立会のあり方など含めて考えていきたい」と話しました。

日光土木事務所前の河川敷で杭ナビとフィールドテラスという現場計測アプリを連動させて、班ごとに測量から丁張まで実施しました。前日の雪と降雨の中での体験となりましたが現場でタブレットをかざすとすぐにARを見ることができ、動かせば全体も把握できて画期的でした。



杭ナビの活用実地説明

丁張体験

意見交換では、「地域特性がカバーできれば遠隔現場がもっと進んでいく」「紙と電子特性を踏まえて使い分けるべき」「チャットなど気軽にやり取りできるツールがあるとコミュニケーションがとりやすい」などの意見が上がりました。若手・女性技術職員らによる意見交換会は、現場での円滑な情報交換などを行えるよう開催しており、今後も定期的に開催していきたいと考えています。

(斉藤建設(株) 斉藤一明)

## 芳賀建設会館新築事業

【芳賀支部】



当会館は築43年以上が経過したことから老朽化が著しく、支部員・職員増及びIT化に伴い手狭となり、通常の使用にも支障をきたしておりました。また、東日本大震災で経験したとおり耐震性に劣り、地震等による被災の可能性が高く、地域の守り手である対策本部の設置場所としては不適な状況でありました。そこで、令和3年度から建替え計画について検討を開始し、会員との合意形成を図りながら建築設計を決定し、令和5年10月17日に地鎮祭を催行し工事着手の運びとなりました。

現在、当支部会員である剋真建設株式会社様の施工により、工事は順調に進行しており、令和6年8月に落成式及び旧会館からの引越しを行い、11月には外構等が完成し、竣工式を行う予定であります。



また、当支部は大正14年(1925年)に協会の前身である「土木請負業組合」の初代芳賀支部長に坂本勝造氏が就任してから来年1月で100年になることから、12月14日(土)に創立100周年記念式典を開催いたします。

お陰様をもちまして新しい芳賀建設会館で100周年を迎えられそうです。本部、各支部及び関係機関の皆様には今後とも、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

(新会館建設委員会 副委員長 河原恵治)



## 豚熱防疫措置に取り組む

【下都賀支部】



令和6年2月16日に栃木市の養豚場で豚熱の感染が確認され、栃木県との「家畜伝染病の発生時における防疫対策への協力に関する協定書」に基づき、下都賀支部をあげて早朝から2班体制で埋却作業を行うことで感染拡大を防ぎ、地域の安全確保に全力で取り組むこととなりました。

発生直後、下都賀支部対策委員会を設置し、埋却農場の現地調査及び重機による試掘調査を実施、その調査の結果をもとに必要な重機、資材、人員配置を県と協議しました。



作業にあたっては、防疫拠点に集合して現地までバスで移動し、その移動中に従事するための安全対策教育を実施、到着後、慣れない防護服を着用しての作業で、13時間2班体制で埋却作業を実施しました。

今回の防疫対策にあたっては、防疫拠点・消毒ポイントとして施設を利用、送迎等の車両など多くの関係各所の協力のなかで14日間という短期間で防疫措置が完了しました。

今回のことで国内の伝染病に対する防疫対策への意識の高さ、そしてそのことが国民の安全を守っているんだと感じる出来事でした。

(有)磯工務店 渡邊和徳

## 水防及び地震情報伝達 合同訓練

(道路河川管理情報システム・現場応急対策)

【塩谷支部】



塩谷支部対策本部情報確認

令和6年6月13日、塩谷支部は水防及び地震情報伝達訓練を実施しました。

塩谷支部、矢板土木事務所、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町、初参加の建設コンサルタンツ協会会員も含め合同訓練に約60人が参加し道路・河川等管理情報システムを使ったりリモートでの情報共有による災害対応の連携を各対策本部、各現場で災害対応強化を図りました。



堤防浸食防止シート張り工法による応急処置状況

水防訓練では、大雨の影響による大規模斜面崩壊が発生しており、山林斜面崩壊による河道閉塞の恐れがあると想定。現場班は、本部指示により重機で堆積した崩落土砂を除去し、堤防浸食防止のためシート張り工法にて応急処置を実践しました。地震訓練では、高根沢町において震度5弱の内陸型直下型地震が発生したと想定。橋梁部の異常箇所ありと報告があり、土木対策本部からの指示により建設コンサルタンツ協会の調査員が現地に向かい、橋梁破損箇所の緊急点検を行いました。訓練により自然災害にいつでも対応できるように県、4市町、各協会が連携を行い、地域の守り手として防災活動に今後も力を発揮できるように努力していきたいと思ひます。

(友建工業(株) 小菅秀樹)



## 創立 75 周年記念講演会

【那須支部】



75 周年記念講演会



原 辰徳氏

令和 6 年 4 月 19 日に那須野が原ハーモニーホールにて那須支部創立 75 周年記念事業として元読売巨人軍の原辰徳氏をお迎えし、「野球と私」を演題に記念講演会を開催いたしました。

協会関係者並びに関係機関の皆様方、また式典・記念誌発行にご協賛をいただきました企業様、約 300 名のご参加をいただき、盛大に開催することができました。

那須支部の活動理念である「信頼・技術・感謝」は、技術があつて信頼が得られ、日々感謝の心を忘れることなく精進することが、野球にも我々の仕事にも通じるものがあると考えています。

今後も 100 年先を見据え、「地域の守り手」「地域の創り手」として、活動理念を忘れることなく地域の皆様のご期待に応えられる経営を目指していきたいと思ひます。



準備委員会メンバーと

記念事業にご参加いただきました皆様、ご協賛をいただきました企業様、75 周年記念事業準備委員会の皆様、役員各位にあらためまして感謝申し上げます。

(マルホ建設(株) 星 豪紀)

## 南摩ダム現場見学会 〈受発注者合同〉

【烏山支部】



仲良くパチリ 烏山支部員と烏山土木事務所職員

令和 6 年 2 月 29 日、烏山支部は本体工事真つ只中の南摩ダム建設工事現場を水資源機構 思川開発建設所様のご協力のもと、見学させていただきました。

今回の見学会は、烏山土木事務所からお声かけがあり実現したもので、当日は 30 名の技術者が合同で工事関係者の説明に耳を傾けました。



支部員も普段から ICT 施工など多様な現場に触れる機会がありますが、このようなスケールの大きい現場は経験が少なく、大規模建設を肌で感じ取れる良い機会となりました。

また、見学会開催に先立ち、烏山土木事務所の大塚次長から

挨拶をいただくとともに、土木事務所職員と同じ時間、同じ現場を共有することができ、デスク上での意見交換会とは違った意思疎通を図ることができました。

私どもは、このような機会を生かし、今後も安全な現場、工物品質・生産性の高い現場を目指し、受発注者間で理解を深め合いながら建設工事等を進めてまいります。

(株)荒川建設 中山靖之



## 排水ポンプ車操作訓練

【安蘇支部】



令和6年5月21日に佐野市秋山川、葛生大橋上流にて安足土木事務所、わたらせ建設業協同組合、安蘇建設業協同組合合同で排水ポンプ車操作訓練を行いました。この訓練は年1回行っており今後頻発・激甚化する豪雨災害に対応すべく、機動力を生かし浸水被害の解消を迅速に行うためのものです。排水ポンプ車には人力で持ち運べる小型の特殊ポンプを搭載しており、その性能は30m<sup>3</sup>/min(25mプールを約20分で排水可能)、排水距離50m(ポンプ1台あたり)、排水可能水深0.1m以上、車両総重量8,000kg以下(中型運転免許で運転可能)となっています。訓練では安足土木事務所と各協同組合との情報伝達、排水ポンプ車の設置、展開、操作訓練、排水を行いました。



(岡田土建(株) 石澤洋幸)

## 水防演習

【足利支部】



令和6年度 水防訓練

足利市水防演習が令和6年5月19日に実施されました。2年ぶりとなるこの演習には、市内消防団19個分団から114名をはじめ、消防本部や自主防災組織連絡協議会、国や県等関係機関、足利市建設業協会から総勢326名が参加しました。



令和元年東日本台風の際には、渡良瀬川の増水に伴い中橋周辺において初めて水防活動を実施したことから、この訓練では、我々もこの水防活動を想定した大型土のうの設置訓練を実施しました。その他、市の広報・物資運送給水活動、消防団による堤防巡視活動、ドローンや県消防防災ヘリでの偵察訓練など、約1時間半にも及ぶ演習は、本番さながらに行われ、日頃の訓練成果を見ることができました。

昨今、異常気象に伴う風水害等が頻発・激甚化している中であって、建設業界は、「地域の守り手」としての社会的使命を担っているところであり、その使命を全うするためには、会員の皆様と様々な活動を積極的かつ活発に展開しながら、建設業界のさらなる発展を目指していかなければならないと意を強くしました。

昨今、異常気象に伴う風水害等が頻発・激甚化している中であって、建設業界は、「地域の守り手」としての社会的使命を担っているところであり、その使命を全うするためには、会員の皆様と様々な活動を積極的かつ活発に展開しながら、建設業界のさらなる発展を目指していかなければならないと意を強くしました。

(三興工業(株) 山根良樹)

# CCUSの普及促進のための取り組み

## 多様な現場に対応する就業履歴蓄積環境整備

### ～現場に応じたカードリーダー・APIシステムで就業履歴の蓄積へ～

現場入場時にCCUSカードをカードリーダーにタッチすることで、就業履歴は蓄積されていきますが、現場は必ずしも一律なものではありません。

CCUSに直接就業履歴を蓄積する方法としては、PC接続を前提とした安価なカードリーダー、持ち歩き可能でデータ蓄積可能なカードリーダー（ログイン機能付きカードリーダー）、お手持ちのiPhoneに「建レコ」アプリをダウンロードしてカードリーダーとして活用する方法（iPhoneのカードリーダー化）があります。

また、CCUS以外の就業履歴を蓄積するシステムとCCUSをAPI連携することで就業履歴を蓄積する方法もあります。携帯電話からの発信や、顔認証により現場の入退場を登録することができます。

現場の状況、入場する技能者の状況などを考慮して選択いただき、適切に就業履歴を蓄積してください。

#### ●カードリーダーのログイン機能（データ蓄積）

##### 【従来機能】



現場毎に、パソコンとカードリーダーを設置

≫置き場が必要

ログイン機能を活用すると

##### 【ログイン機能】



現場ではカードリーダーのみ

≫置き場を気にする必要なし

（例えば、管理者が胸ポケットに入れて持ち歩いてよい）

##### 【事務所】



事務所に行った際に、パソコンにつなげばよい

カードリーダーの就業履歴の蓄積上限である2,000件を超えなければ、それまでの間はパソコン等（「建レコ」をインストールしたもの）につなげる必要はありません。（そのため、山奥の現場など通信回線が届かない場所でも利用できます。）

#### ●iPhoneのカードリーダー化

##### 【従来】



現場毎に、「PC等」と「カードリーダー」が必要

##### 【iPhoneのカードリーダー化を活用すると】



カードリーダーは不要（iPhoneのみでOK!）  
iPhoneの裏側をCCUSカードにタッチする

#### ●携帯電話から発信、顔認証による入退場登録



携帯電話発信  
（ガラケー・スマホ）



顔認証

# 東日本建設業保証グループ会社（KKS）からのご案内

## 工事の出来高に応じた融資を利用してみませんか？

新たな資金調達手段をお考えの方に…

## KKS出来高融資のご案内

～国土交通省 地域建設業経営強化融資制度～



### よく利用されるケース

当該工事の資金繰りを何とかしたい！

既存の融資枠とは別の資金調達手段を確保したい！

竣工金の受取りまで時間がかかりそう！

経営事項審査の評点をアップしたい！

### 保証人・不動産担保は不要です！

工事請負代金債権を担保とするので、保証人を立てたり、不動産を担保とする必要はありません。

### 新たな資金調達手段を確保できます！

お取り引きしている金融機関の融資枠に影響することなく、新たな資金調達手段として利用できます。

### 工事代金の入金遅れを解消できます！

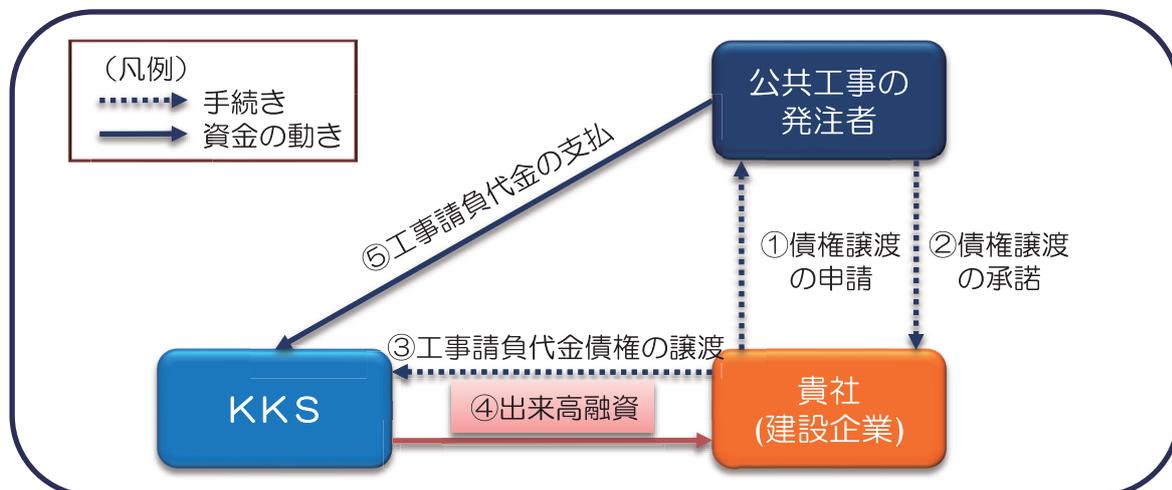
資金調達日を確定することにより、資金繰り計画を立て易くなります。また、竣工金入金によって融資の返済を受けたものとしますので、余分なコストがかかりません。

### 経審上も有利です！

出来高融資での借入金は、経営事項審査の経営状況分析における「負債回転期間」の負債合計から控除されます。

## KKS出来高融資のしくみ

国の「地域建設業経営強化融資制度」に基づき、貴社の公共工事請負代金債権（以下、工事請負代金債権とします）を担保として、KKSが出来高に応じて融資を行うものです。





## お申込から融資実行までの流れ



## ご利用の留意点

- ※ 基準金利は年1.9%です(但し基準金利は、金融情勢により変動することがあります)。
- ※ 融資時には、利息のほかに、事務手数料、出来高査定費用(実費)、手形貸付に係る印紙、法人の印鑑証明書等の費用がかかります。
- ※ 事務手数料については、一律11,000円(税込)です。ただし、同一工事で複数回の融資をご利用の場合は、2回目以降7,700円(税込)です。
- ※ 出来高査定費用は工事内容や工事場所等に応じて変動します。



## ご利用いただける発注者の例示

- 【国】 国土交通省、農林水産省、文部科学省、防衛省
- 【独立行政法人】 東日本高速道路(株)、都市再生機構、水資源機構
- 【地方公共団体】 栃木県、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、那須塩原市、さくら市、下野市、上三川町、那須町、壬生町

制度に関するお問合せ先 ⇒ 東日本建設業保証(株)栃木支店 028-639-2388  
 お申込に関するお問合せ先 ⇒ (株)建設経営サービス 金融第二部 03-3545-8523

詳しくはWEBで

KKS出来高融資

検索

[www.kks-21.com](http://www.kks-21.com)



発行人・お問合せ先

**KKS** 株式会社 建設経営サービス  
 金融第一部 (貸金業登録番号 関東財務局長(5)第01480号)

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 URL <https://www.kks-21.com>  
 TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部  
 宮城営業所  
 愛知営業所  
 石川営業所

東京都中央区築地5-5-12 TEL 03-3545-8523  
 宮城県仙台市青葉区支倉町2-48 TEL 022-262-8622  
 愛知県名古屋市中区武平町5-1 TEL 052-962-3525  
 石川県金沢市弥生2-1-23 TEL 076-242-1285

一般社団法人 栃木県建設業協会 推薦

栃木県内の電子入札用ICカードは  
 アオサイン

# AOSign サービス



発行シェア No.1\*

累計発行枚数は62万枚突破!  
\*電子入札ICシステム対応のICカードとして

発行スピード No.1

弊社書類到着後、  
通常5営業日以内に発行!

商品ラインナップ No.1

有効期間1年+30日~5年までの  
5種類をご用意!

初めてお申し込みの企業様限定 アンケートご回答特典 初回とく割実施中!

お問い合わせ先

**ndn** 日本電子認証株式会社 〒104-0045  
 TEL 0120-714-240 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ3F  
<https://www.ninsho.co.jp/index.html>

**東日本建設業保証株式会社** 栃木支店 〒321-0933  
 TEL 028-639-2388 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館3F  
 FAX 0120-027-316

日建学院は開講以来、建築士、宅建士、各種施工管理技士合格者輩出のトップを走り続けます。

# 合格者輩出数55万人突破!

業界実績

# No.1

建築士講座

総合満足度 No.1  
顧客満足度 No.1

- リポート満足度
- 使用教材の満足度
- カリキュラム充実度
- 価格の満足度



- 設備体制学習環境の充実度
- 職員の対応サポート力
- 担当者の最適なコース提案力
- 感染対策の満足度

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2021年9月期\_顧客満足度調査

10冠達成の資格学校です!

## 人材開発支援助成金 受講料の最大約 92% を助成!

※上記日建学院宇都宮・小山校2級建築施工管理技士一次・二次講座を利用した場合(20人以下の中小建設事業主)。  
※助成金ご利用条件がございます。詳しくは日建学院宇都宮校までお問い合わせ下さい。

### 日建学院 主要開講座

- 1級土木施工管理技士
- 2級土木施工管理技士
- 1級建築施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 1級管工事施工管理技士
- 2級管工事施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 2級造園施工管理技士
- 給水装置工事主任技術者
- 1級建築士
- 2級建築士
- 宅地建物取引士
- 建築設備士
- 他多数



あなたの夢、応援します。

# 日建学院

宇都宮校 TEL:028-637-5001

小山校 TEL:0285-31-4331



建設業のみなさま

安心できる  
未来をつくるう！

建退共

電子申請で  
掛金納付を  
もっと便利に！！

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。



国がつくった退職金制度なので安心かつ確実！ 制度説明動画配信中 **建退共**

けんたいきょう

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
建設業退職金共済事業本部  
〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1 TEL03-6731-2866

建設業界の皆様へ

建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも最適

●加入できる事業主  
建設業を営む事業主

●対象となる労働者  
建設業の現場で働く方

●掛金は  
日額 320円

- ◎安全確実かつ簡単  
(退職金は国で定められた基準により計算して、確実に支払われます)
- ◎公共工事の受注に有利  
(建退共に参加し、適正に履行している場合には経営事項審査で加点評価されます)
- ◎掛金が一部免除  
(国が掛金の一部を補助します)

特長

- ◎掛金は損金扱い  
(損金または必要経費に算入できます)
- ◎退職金は企業間を通算して計算  
(勤め先が変わっても、建退共加入企業であれば、退職金を引き継げます)
- ◎電子申請で手続き可能  
(掛金を電子的に納付できます)

建退共のホームページを是非ご覧ください。

# ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者  
割戻金制度により  
**掛金負担が  
軽減**

**手厚い補償**  
保険金区分合計  
最高**5,000万円**

労働者と企業の  
**リスクを  
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

## 建設共済保険

法定外労災補償制度



**今すぐ、ご加入を!**

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

### 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社) 栃木県建設業協会  
〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1  
Tel. 028-639-2611 Fax. 028-639-2985



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



**0120-913-931**

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

現場が見えると、  
仕事が変わる。



小さな事から始められる、福井コンピュータの建設DXソリューション。

業務の一つひとつを3D・ICT化し活用していくことで、現場の省力化・効率化が実現し、生産性を飛躍的に向上させることができます。福井コンピュータでは、建設業界が抱える課題をICT技術で解決し、日本のインフラ整備を支えてまいります。

●背景イメージデータ提供：カナツ技研工業株式会社（鳥根県）

製品情報



福井コンピュータ株式会社 北関東営業所／埼玉県さいたま市北区本郷町784

札幌・福岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

[福井コンピュータグループ総会案内]

0570-039-291

福井コンピュータ 検索 <https://const.fukuicompu.co.jp>

許可・経審の“電子申請”も「なんでも経審Plus」



なんでも  
経審Plus  
を使うと…

- ▶ JCIPへの申請データを作成できます! ※JCIP(建設業許可・経営事項審査電子申請システム)
- ▶ JCIPから取り出した前回データも取り込めます!
- ▶ 経営状況分析申請用データも作成可能。そのまま電子申請するとお得に!

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付はできませんのでご注意ください。

登録経営状況分析機関  
登録番号 1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

北海道  
関東  
東北  
中部・北陸

Tel. 011-222-2688  
Tel. 03-6661-7427  
Tel. 03-6661-7214  
Tel. 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階  
詳しい情報は <https://www.ciic.or.jp/>

または

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) に関するISO規格 (27001) の認証を取得しています。



中小建設業 特有の条件に対応

# 建設業者様向け 勤怠管理システム **1年間 無料**

※1年経過後 100円～(税別)/1ID



## かんたん勤怠マネージャ for 建設業

- 現場直行・直帰を管理 ● PC 使用状況把握
- 除雪・災害対応等 36 協定適用外管理も可能

ホームページからダウンロード

ワイズ 勤怠管理 検索



株式会社ワイズ TEL.026-266-0710 MAIL:info@wise.co.jp

本社:〒380-0803 長野市三輪1丁目8番14号  
FAX.026-266-0845 サポートダイヤル:TEL.050-5491-1112



栃木県の 毎朝 10分 で  
建設情報に  
強くなれる



- 公共工事情報** 県内の建設計画や工事情報をいち早くお伝えします。
- 入札・落札情報** 入札結果・予定・公告情報を最短で翌日に掲載します。
- 最新業界情報** 建設関係団体の事業活動、企業の取り組みを網羅。

1カ月  
お試し  
無料

栃木建設新聞 1カ月 (税込)  
火曜日～土曜日発行 **8,100 円**

※原則として半年ごとのご契約となります。6カ月契約=48,600円(消費税税込) 1年契約=97,200円(消費税税込)  
※軽減税率8%の対象商品です。



株式会社 日本工業経済新聞社  
宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階  
営業時間 平日9時～18時

お問い合わせ  
028-634-0141



試送お申込みはこちら

・私たちは安全を優先します・

建災防会員は、労働災害防止に積極的に寄与する企業として、  
関係行政や発注者から高い評価が得られています。



建災防

建設業労働災害防止協会栃木県支部

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階

TEL 028-639-3133 FAX 028-639-3806

URL <https://www.kensaibou-tochigi.jp/>

**積算資料と追加資料のデータベースをWeb経由で検索・出力**



## 積算資料電子版

掲載単価は全て調査価格！約61,200規格を掲載！

- 月刊「積算資料」約51,200規格と「積算資料 別冊」約9,200規格（2024年4月号時点）を全て調査価格で掲載

検索結果はExcelで出力できます！

- 【検索・絞り込み】 ツリー・フリーワード検索や都市、流通段階、数量区分の絞り込みが可能
- 【マイデータ】 検索した単価や名称をExcelデータとして保存可能（一部点数制限あり）
- 【閲覧・印刷】 表形式でのデータベース閲覧、月号の比較、PDFによる誌面の閲覧と印刷が可能

ID・パスワードのみで閲覧できます！

- 1契約につき7ユーザーまでの登録 このうち3ユーザーの同時利用が可能

無料体験版のご利用はこちら⇒ [BookけんせつPlaza](#) [検索](#)

**年間契約料(税込) 50,160円 / 1契約(毎月更新)**

●お申し込み・お問い合わせは●

一般財団法人 **経済調査会** 業務部

〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル  
TEL 03-5777-8222 FAX 03-5777-8237



詳細・無料体験版・ご購入はこちら！  
[BookけんせつPlaza](#) [検索](#)

会員のみなさまへ  
～会員のみなさまを不測の事故からお守りします～

### 当協会での「各種保険制度」のご案内

① 第三者賠償事故包括契約保険制度	4月1日より1年間
② 土木工事総合保険制度	8月1日より1年間
③ 建設工事総合保険制度	12月1日より1年間

栃木県建設産業団体連合会

一般社団法人 **栃木県建設業協会**

TEL 028-639-2611 FAX 028-639-2985

(有)アクト(三井住友海上火災保険㈱代理店) TEL 028-639-2611

お問い合わせ先

## あなたの「学び」を あなたの「力」に

---

土木施工管理／継続学習 (CPDS)

### 栃木県土木施工管理技士会

■〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1 ■Tel. 028-639-2611 ■Fax. 028-639-2985



株式会社 小松製作所 代理店  
特定自主検査認証工場 栃第1号

## 株式会社 愛全重車輛

■本社 宇都宮市平出町1044-1 TEL 宇都宮(028)661-6441(代表)  
 ■宇都宮営業所 宇都宮市平出町1045-3 TEL 宇都宮(028)683-2282(代表)  
 ■那須営業所 那須塩原市三区町504番地8 TEL 那須塩原(0287)36-3851(代表)  
 ■鹿沼営業所 鹿沼市榎木町558-1 TEL 榎木(0289)75-4018(代表)

<https://www.aizen-sh.co.jp/>

## 栃木県中央生コンクリート協同組合

事務所：〒321-0932 宇都宮市平松本町1140番地1 生コン会館2F  
 電 話：028 (635) 5583 / FAX：028 (635) 5587

渡辺社由共同生コン株式会社	小山レミコン株式会社鹿沼工場
株式会社増淵生コン	小山レミコン株式会社真岡工場
株式会社宝木建材工業	有限会社添谷工業
東武栃木生コン株式会社	株式会社上野生コン
菊一生コン株式会社	有限会社薄根生コン
株式会社五月女生コン鹿沼工場	

## KOMATSU

すべての人に、あらゆる場面で。  
追求したのは、使いやすさ。

## コマツ栃木株式会社

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38番地12  
TEL 028-662-6093 FAX 028-660-0781

宇都宮支店 TEL 028-662-6088

鹿沼支店 TEL 0289-72-1005

小山支店 TEL 0285-28-1682

佐野支店 TEL 0283-21-8859

那須支店 TEL 0287-62-2611

NEW

「掘る」「吊す」「均す」  
1台3役舗装バージョン  
PC30UU-6 舗装バージョン新登場!

●アングル



●チルト





続  
とちぎの  
サムライ  
vol.30

ここ数年、城址歩きをしていると、さまざまな城と歴史に関わるようになります。毎回のことですが、自分勝手に書いておりますので、史実と異なる部分があるところはお容赦願います。

(一社)宇都宮建設業協会 木澤喜人

# 全国津々浦々 お城めぐりの旅

土佐から  
天下を夢見た  
男の城

今回は、土佐から天下取りを夢見た男の話です。私は、「高知」というと山之内一豊、「土佐」というと長宗我部元親がイメージされます。土佐に行く現地では元々の領主であった長宗我部元親が圧倒的に存在感があるように感じました。高知の一土豪でしかなかった長宗我部元親は、天下取りというとんでもないことを考えていた男でした。当時、天下取りの話で名前が出るのは、甲斐の武田信玄・越後の上杉謙信・中国の毛利・京の三好あたりで、美濃の織田や奥州の伊達なんかは、まだまだ土俵外でした。元親は取りあえず土佐を平定、次に四国を統一したとすると瀬戸内海を挟んで毛利と対峙することになると考え、その時のために今から織田信長と縁を結んでおこうと思いました。なぜか信長に目を付けたのは先見の明があったようです。

それでは、長宗我部元親を「クローズアップ」していきましょう。1539年(天文8年)に長宗我部国親の長男として岡豊城に生まれました。元親の父の国親が本山氏の長浜城を奇襲し攻略した時、長浜城主は、本山茂辰に急を告げ、長浜城奪還のため押し寄せてきた本山軍と長宗我部軍が「戸の本」で対決。その時が元親22歳の初陣でした。本山氏に勝利した後、国親の死後に元親は長宗我部第21代当主となりました。



初陣で元親が必勝祈願した若宮八幡宮



戸の本古戦場跡



初陣の戦勝祈願をした時の長宗我部元親公の銅像。高さは台座も含め約7m。槍の長さは5.7mあります。



岡豊城跡

岡豊城の本丸にあたる曲輪。標高97mの岡豊山の頂上部にあります。一辺約40mのほぼ三角形をした曲輪です。



岡豊城・詰(本丸)

その後、長浜城奪還のため押し寄せた本山勢2千5百と長宗我部勢1千が対決。元親は「姫若子」と呼ばれ、槍の使い方もよく分からないでの出陣でした。この初陣で20騎ばかりの手勢で本山勢を打ち破るとい、誰も予想をしなかった戦果を挙げ、勝利した後は「土佐の出来人」・「鬼若子」と呼ばれる武将の片鱗を見せはじめたのでした。

元親は、生まれてから四国をほぼ平定するまで岡豊城を拠点としていました。その頃の土佐は、中央部に長宗我部氏、北部山岳地帯に本山氏、西部高原地帯に一条氏、東部に安芸氏と4つの勢力圏に分かれていました。その中でも本山氏は元親の父の代から争い続けている難敵でした。本山城は高知から直線以北に約30kmの山中に位置していました。元親は、まず四国きっての堅城といわれていた本山城を攻め、本山氏を降伏させようと考えました。

元親は本山城を最初に力攻めをした後、調略を使ったり流言を流したりして、本山城内に疑心暗鬼を蔓延させ、多くの犠牲を出すことなく落城させ、本山氏を叩き落としたのでした。長宗我部軍が強力だったのは、「一領具足」という制度で組織されていたからだと思います。

一領具足は、わずかな田地を耕し、かたわらに日頃から弓・鉄砲・太刀打ちを訓練していて、いざ戦いの合図があると鎌・鍬を放り投げて、馬で走り回った命知らずの野武士たちで、二〜三町くらいの田地を所有し被官・下人を抱えた在郷の名主だったようです。



本山城主郭(城址碑)



一領具足



安芸城

安芸城は安芸氏代々の居城でした。安芸国虎は中村城の一条氏と連携し、軍勢を率いて岡豊城を攻撃しました。しかし、これは失敗に終わり1569年(永禄12年)長宗我部元親の攻撃に敗れ、その後は長宗我部氏が約30年間支配しました。国虎は安芸城に籠城して抵抗しましたが、城内に寝返る者が続出し、井戸に毒を投げ込まれるなどしたため、国虎は命と引き換えに家臣や領民の助命を元親と約束し、城下の菩提寺、浄貞寺に入って自害しました。こうして安芸氏は滅亡したのでした。

元親は武力・調略を駆使し、紆余曲折を経ながら15年かけて土佐を統一することができました。すぐさま近隣諸国に攻め入り、四国を征服してしまうつもりでした。以前、信長に四国征伐の話をした時には「四国は切り取り放題にせよ」と言われてもいたので、念をいれるべく織田信長に使いを出しました。ところが阿波・讃岐・伊予に昔から根を下ろしていた三好氏が信長に泣きつき、長宗我部の攻撃を止めてもらうよう懸命に働きかけました。信長は三好氏と長宗我部氏を天秤にかけ、先々どちらが扱いやすいかを考え結局三好氏を選びました。ここにきて信長は、見も知らぬ長宗我部と同盟を結ぶ義理はないと考え、土佐一国と阿波の南部は与えてやるが残りすべて差し出すよう命令しました。この命令は、元親にとって青天の霹靂でした。元親は織田の家来でもなく、援軍を頼んだのでもなく自力で勝ち取ったことなのに、高飛車な命令に激怒して信長との戦も覚悟しました。ところが世の中は何が起こるか分からないのです。なんとここで「本能寺の変」が起きて明智光秀が本能寺を襲い、信長は自刃してしまいました。そしてたった11日間で明智政権が崩壊したのでした。天下取りのチャンスと見極めた秀吉は、織田政権の相続者である位置を順次固めはじめました。秀吉は次々に大名を撃破・恭順させ、とうとう四国征伐で長宗我部に焦点を合わせることになりました。信長と同じように一方的に「降伏せよ、そうしたなら土佐一国を与える」と通告しました。信長に続き秀吉にも上から命令され怒り心頭の元親は、大阪に使いを出し現状を調べさせました。しかし、土佐から出たこともなく、何の情報も知らない長宗我部の重臣が見たものは、カルチャーショックなんてものではなく、同じ時空でこんなにも時代が進んでいることを目の当たりにし、頭が真っ白になったことと思います。使者は大急ぎで土佐に戻り、元親に命を賭して降伏を訴えました。聞く耳を持たない元親に、重臣たちは「秀吉軍は長宗我部軍の数倍の規模でいつでも出動できます。我々は戦を恐れることはないが、20年の戦いで疲れ果て、山野は荒廃しこれ以上戦が続けばみんな餓死するだけです。」と訴えられ、さすがに元親も折れざるを得ず秀吉に降伏しました。その結果、土佐一国のみを与えられただけでした。元親は、俺は生まれる所を間違った、秀吉のように尾張で生まれ、家康のように三河で生まれていたら間違いなく彼らと覇権争いをしただろうというじくじたる思いに苛まれました。次の年、元親・信親親子は秀吉の九州征伐に従軍しましたが、嫡男信親が戸次川の戦いで戦死してしまいました。時が過ぎ53歳となった元親は、嫡男の信親を亡くし失意のうちに山城の岡豊城から桂浜の浦戸城に移ったのでした。そして元親は秀吉の配下として文禄・慶長の役に家督を継いだ四男の盛親とともに従軍しました。



桂浜



浦戸城



元親公の墓

長宗我部元親は、61歳で京伏見の宅邸にて病死しました。さてその後、長宗我部盛親は関ヶ原の戦いで西軍につきましたが、敗色濃厚と見て戦わず帰国し、徳川氏に詫言を入れしました。しかし、帰国直後に重臣たちが浦戸一揆を起こしたことをとがめられ、領国を没収され浪人となったのでした。のちに大坂の陣が勃発した時、豊臣側から「勝利した時は土佐一国を与える」との条件で戦闘に参加しましたが敗北。再起を図るため、逃亡したのですが捕らえられて処刑されました。



山内一豊が築城した高知城

長宗我部が消滅した後、徳川家康は関ヶ原合戦の論功行賞を行い、掛川城主・山内一豊を5万石から、土佐20万石の大々名に昇格させました。井の中の蛙を絵に描いたような長宗我部は、やはり四国という立地のハンディを越えることができなかつたのだと思います。私には何の関係もありませんが、権力・財力という力とはとてつもなく魅力的なものなんじゃないか？



■総会員数 350社

宇都宮 76	鹿沼 25	日光 38	芳賀 32	下都賀 57
塩谷 33	那須 42	烏山 14	安蘇 17	足利 16

■新規会員

〈宇都宮〉 鈴運メンテック(株)  
若月 裕之



〈那須〉 相馬重機(株)  
相馬未佐男



■代表者変更

〈鹿沼〉 佐野屋建設(株)  
高内麻恵子



〈日光〉 奥日光林産興業(有)  
飯見 直人



〈日光〉 小池工業(株)  
小池 仁



〈日光〉 丸政建設(株)  
柴田 政裕



〈下都賀〉 いなば建設(株)  
松本 保



〈下都賀〉 (株)鯉沼工務店  
鯉沼 毅明



〈塩谷〉 (株)小堀建設  
小堀 彰久



■退会会員

〈宇都宮〉 (株)泰和工業

〈足利〉 増田建設(株)

■お悔やみ

令和5年12月17日	(株)新野重建	〈塩谷〉	代表取締役会長	新野昭男様 (享年78歳)
令和6年2月9日	(株)田村緑化工業	〈下都賀〉	取締役会長	田村光司様 (享年77歳)
令和6年2月11日	丸政建設(株)	〈日光〉	代表取締役	柴田政之様 (享年69歳)
令和6年3月27日	板荷土建(有)	〈鹿沼〉	代表取締役	阿部信夫様 (享年74歳)



■編集後記

何かと多忙な折、けんせつNo.216号をお読みいただきありがとうございます。

今年度は栃木県建設業協会も役員改選期で新役員の方々や栃木県幹部職員様のご紹介、トピックスでは各支部活動を紹介しております。また、特集では田川浸水対策重点地域緊急事業でのICT施工を紹介しており、巻頭言で協会長が言及しておりますが、業務効率化や生産性向上の対策がより必要となっております。これからは建設業が「地域の守り手」として地域社会に貢献し、発展していけるように願っています。

昨年当協会は100周年の節目を迎えましたが、100年後も皆様に愛される建設業であるような広報活動を行っていただきたいと思います。

最後に、記事を投稿してくださった皆様・編集に携わった皆様ありがとうございます。

(広報委員 斎藤一明)



一般社団法人 栃木県建設業協会 〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1



TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL https://www.tochiken.or.jp/

- |                           |                           |                          |
|---------------------------|---------------------------|--------------------------|
| ■宇都宮支部 / TEL.028-636-5221 | ■鹿沼支部 / TEL.0289-65-2020  | ■日光支部 / TEL.0288-54-0140 |
| ■芳賀支部 / TEL.0285-82-2051  | ■下都賀支部 / TEL.0282-24-5420 | ■塩谷支部 / TEL.0287-43-0142 |
| ■那須支部 / TEL.0287-22-2124  | ■烏山支部 / TEL.0287-82-3161  | ■安蘇支部 / TEL.0283-24-3838 |
| ■足利支部 / TEL.0284-71-0044  |                           |                          |